

令和 6 年 3 月 3 1 日

薩摩川内市議会

議長 大田 黒 博 様

（会派代表者経由）

会 派 の 名 称 新創会

経 理 責 任 者 氏 名 犬 井 美 香



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第 8 条の規定により、次のとおり、令和 5 年度の政務活動費に係る収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 3 6 0 , 0 0 0 円

2 支出

（単位：円）

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	1 9 5 , 5 1 0 円	6/5～7 東京都
研 修 費	1 4 , 0 0 0 円	4/12 薩摩川内市
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
人 件 費		
事 務 費	1 2 4 , 2 1 2 円	プリンタインクカートリッジ、用紙等
合 計	3 3 3 , 7 2 2 円	

3 残余の額

2 6 , 2 7 8 円

注 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。

3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。

4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。

5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

令和6年3月31日

薩摩川内市議会
議長 大田黒 博 様

会派の名称 新創会
代表者名 成川 幸太郎



活動報告書

1 調査研究事業

（1）調査年月日

令和5年6月5日（月）～7日（水） 2泊3日

（2）調査参加者

成川 幸太郎、犬井 美香

（3）調査先及び調査項目

東京都

- ・国会議員との意見交換及び地元議員表敬訪問
- ・今後の日本の畜産の見通しについて（農林水産省）
- ・次世代原子炉について（資源エネルギー庁）
- ・地層処分の在り方について（原子力発電環境整備機構）
- ・寿都町及び神恵内村における文献調査の現状について
（原子力発電環境整備機構）

（4）調査の概要

別添報告書のとおり

2 研修事業

（1）研修年月日

令和5年4月12日（水）

（2）研修参加者

成川 幸太郎、犬井 美香

（3）研修先及び研修項目

研修先 薩摩川内市SSプラザせんだい

自治体議会特別セミナー 議員の資質向上と議会運営の基本

講師 自治体議会研究所 代表 高沖 秀宜氏

3 広報事業

4 広聴事業

5 要請・陳情活動事業

6 その他活動

政務調査報告書

令和 5 年 9 月 1 日

薩摩川内市議会

議長 大田黒 博 様

会派 新創会

代表者名 成川 幸太郎

政務活動費による政務調査を実施したので、次のとおり報告します。

1 政務調査年月日

令和 5 年 6 月 5 日（月） ～ 令和 5 年 6 月 7 日（水） 3 日間

2 政務調査の参加者

成川 幸太郎・犬井 美香

3 政務調査先・・・別添「行程表」のとおり

東京都霞が関	農林水産省
	資源エネルギー庁
東京都	原子力発電環境整備機構

4 政務調査の目的

農林水産省	: 畜産業の情勢とみどりの食料システム戦略について
資源エネルギー庁	: 次世代革新炉について
原子力発電環境整備機構	: 高レベル放射線廃棄物の地層処分の事業概要と現況について

5 政務調査の概要

・「畜産業の情勢とみどりの食料システム戦略について」（農林水産省）

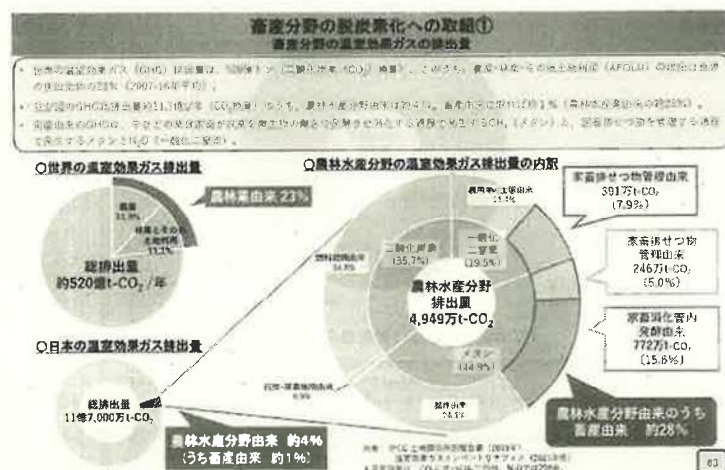
国内流通の牛肉は、国産肉は低い水準で推移しているものの、全体の流通量は輸入業肉に左右されている。飼育牛は和牛が伸びているものの、酪農牛は減少傾向となっている。今後、和牛の割合は伸びるものと見ているが、需要とのバランスが課題となっている。全体的な市況は、コロナ前に戻りつつあるものの、物価上昇により原価が上昇しており、競り価格が低下している中にあって 1 次農家には厳しい状態となっている。乳牛についても、年々生産量は減少傾向となっている。物価高によるコストアップと、需要の減少で生産量の方が勝っている事もあり、需給バランスの調整、確保と、コスト低減が課題となっている。

そのような中、カーボンニュートラルの一環として、「みどりの食料システム戦略」の必要性も出てきており、環境負荷低減と原価低減を兼ねた展開として、飼料の改良で排泄される環境負荷物質の低減や処理方法の改良での環境負荷物質手の低減及び、畜産業については肥育期間

を短縮する事で、相対的に環境負荷物質（特に牛のゲップに含有されるメタンガス）の低減を計る実証事業もあり、ぜひ活用して欲しいとのことであった。



温室効果ガスについては、世界全体（520億t）の中で、農業分野の割合は23%あるとの事であったが、日本の占める割合は、世界全体の2.25%（11.7億t）で、そのうち農業関連の割合は4%、畜産業では約1%とのこと。全体的に畜産業の占める割合は低いものの、牛のゲップに含まれるメタンガスは、二酸化炭素の25倍の環境負荷があるという事で、牛のゲップに着目する動きが出てきており、前述の肥育期間の短縮で、相対的なゲップの量（メタンガスの排出量）を減らす活動に繋がっているという事であった。



その他活動としては、後継者不足、コスト低減を目的として、ICTとの連携も模索していた。ICTや関連する機器を駆使することで、

- ・発情のモニターと周知システムで妊娠の確立を上げる
- ・分別監視システムで出産時期の的確な把握
- ・哺乳ロボットの導入

等で、省人化と人件費削減で収益性の改善につなげる取り組みを国としても実施している事がわかった。

・「次世代革新炉について」（資源エネルギー庁）

現時点での革新炉については以下の5つ。

- ・革新軽水炉
- ・SMR（小型モジュール炉）
- ・高速炉（ナトリウム冷却高速炉）
- ・高温ガス炉
- ・核融合炉



それぞれの種類の炉について、方式、概要と課題についてレクチャー頂いた。いずれの炉も検証必要な項目があるものの、各々に課題があり、型式によって進捗にも差があるとのこと。基本設計が終了する順番で行くと、革新軽水炉（2025年）、高温ガス炉（2028年）となり、他の方式は2030年以降となっている。製作、建設前の詳細設計では高温ガス炉の方が早く終了し、製作、建設開始可能な時期は高温ガス炉（2029年）、革新軽水炉（2030年代）となっているが、高温ガス炉は実証炉としての運用となる為、まず革新軽水炉が実用炉としての運用になると思われる。



・「高レベル放射線廃棄物の地層処分の事業概要と現況について」（原子力発電環境整備機構）

地層処分については2000年に法律で制定されるものの、現時点でも文献調査の段階にとどまっている状況にある。地層処分については、使用済み燃料の再処理で発生する5%程の高

レベル放射性廃棄物を処分する方法で、現在最も効果的と言われる手法である。安定なガラスを用い、ガラス固化体の形で固めて封止し、更に3.00m以上の地下に隔離処分するものである。



該当する自治体への交付金の状況については、初期段階の「文献調査」の期間2年間で20億円、次の段階の「概要調査」が期間4年で70億円、次段階の「精密調査」の期間は14年程度であるが、それ以外は未定との事で、今後検討することになるとの事であった。現在は北海道の寿都町と神恵内村の2自治体のみで、いずれも「文献調査」の第3段階とのこと。将来的には10ヶ所ほどの自治体の調査を行い、最終決定に向けて動いていく予定との事であった。

6 所感

・「畜産業の情勢とみどりの食料システム戦略について」

特に畜産においては輸入肉の影響もあり、国産肉は価格面で不利な状態が続いている事もあり、抜本的な原価低減の必要性を感じる。急激な円安の影響もあり、飼料の値段含めての飼育経費が増大するなか、価格に反映できない国内事情に対しては何らかの手立てが必要と感じるとともに、国内需要の拡大も行いながら、価格と流通量のバランスで1次農家に売り上げが還元される仕組みが必要であると感じた。

また、環境負荷物質の低減策の中で「牛のゲップ」が特に着目されているが、消化管内の発酵対策として第1胃（ルーメン）内の CH_4 （メタン）を産生する微生物の完全制御により、牧草の栄養分を効率的に活用。 CH_4 の発生量と生産性の向上を両立できるシステムが開発されていることや、家畜排せつ物管理対策として飼料の見直しや排せつ物の管理方法の変更なども考えているとのことだったので、今後のしっかりとした仕組みづくりが期待できると感じた。

全国各地、各品種において、良質堆肥の生産、国産飼料の生産・利用、放牧、ICT機器の活用などの持続可能な畜産物生産の取り組みが行われていることを知り、本市においても生産現場の知見や経験を活かしつつ、新たな取り組みを進めていくことが重要であると考えた。

・「次世代革新炉について」

5つある革新炉の候補の中で、究極は核融合炉であろうと思われるが、現時点では検証が不足して相当年かかると思われる。直近では革新軽水炉で次いで高温ガス炉がそれまでの繋ぎの技術になるのではないかと考えた。再生可能エネルギーの促進が言われる中、先進海外諸国では電力の不安定化などの問題から、再度原子力発電の利活用に舵を切る先進諸国も見られることから、正しい現状分析と判断基準に基づくエネルギー政策の方針を期待したい。また、いずれの方式の革新炉についても検証には膨大な予算が必要となる為、予算獲得も課題としてあげられていた。今後、増大することが確定している電力使用量の確保や安定した環境整備、そして最も大切である「安全」の為に国民の理解の元進めて行くべきであると強く感じた。

・「高レベル放射線廃棄物の地層処分の事業概要と現況について」

本年国において「特定放射性廃棄物の最終処分場に関する基本方針」の改定が閣議決定され、「国は、政府一丸となって、かつ、政府の責任で、最終処分に向けて取り組んでいく」ことが示されている。原子力発電を安定電源と位置付けるのであれば、この最終処分場に関しては早急に取り組まなければならないことであり、その解決策の一つとして「地層処分」がある。この調査期間は3段階で約20年と長期間を要す事業となり、実際に処分が始まっても、建設から操業、閉鎖までで100年と更に長期の事業となるようである。雇用の増加にもつながる可能性があることや調査段階での自治体交付金などがあることも知ることができたが、まだまだ未知数なことも多いため、しっかりと学びや議論の必要があると感じた。

政務調査報告書

令和 5 年 4 月 2 0 日

薩摩川内市議会

議長 大田 黒 博 様

会派名 新創会

代表者名 成川 幸太郎

政務活動費による政務調査を実施したので、次のとおり報告いたします。

1 政務調査年月日・場所

令和 5 年 4 月 1 2 日 (水) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0 1 日間
SS プラザせんだい 1 0 4 会議室

2 政務調査の参加者

成川 幸太郎、犬井 美香

3 政務調査内容

議員の資質向上と議会運営の基本
(プログラム)

- 1) 議員の資質向上の在り方
- 2) 「二元代表制」における議会活動
- 3) 議会運営の基本
- 4) 一般質問と議員力・議会力の強化

(講師) 自治体議会研究所 代表 高沖秀宣

4 所感

本セミナーは、地域を活性化させるために、二元代表制の下、日々尽力している自治体議会議員と市民・議会事務局職員のための「学びの場」として開催された。伊佐市や霧島市など他市の議員と共に充実した学びとなった。特に、市長を頭とした執行機関と議事機関である議会是对等であること、地方議会の議決すべき事項においても予算は議決、すなわち承認ではなく決定することが重要であり、本当に市民のためのものになっているかを考えることが大切であることを学んだ。そのためには十分な審議と熟議が必要であり、議会のレベルを上げていく必要性も感じた。政策の質を上げるためにも学びは必要で、そのために大切な「政務活動費」があることも改めて感じ、新規事業など市民にしっかり説明できる議員になるため引き続き精進したいと思った。

新人からベテランまで

自治体議会特別セミナー in 川内!!

議員の資質向上と議会運営の基本

本セミナーは、地域を活性化させるために、二代表制の下、日々尽力されている自治体議会議員と市民・議会事務局職員のための「学びの場」です。

特に新人議員等やる気のある議員が議会活動・議員活動を行う上で、特に重要な「議員の資質向上」と「議会運営の基本」について講義します。どうぞ薩摩川内地域の自治体の新人議員等議会関係者の参加をお待ちしております。

(プログラム)

- 1 議員の資質向上の在り方
- 2 「二代表制」における議会活動
- 3 議会運営の基本
- 4 一般質問と議員力・議会力の強化

2023(令和5)年

日 時 **4月12日(水)**
13:30~16:00 (2時間半)
※受付開始は13:00

会 場 **SSプラザせんだい 104 会議室**
薩摩川内市平佐1丁目18 tel0996-27-8455

受 講 料 7,000 円(議員)、4,000 円(市民・職員)(当日払)
※ テキスト代 2,000 円含む(お持ちの方は持参して下さい)



自治体議会研究所 代表 **高沖秀宣**

講 師 (議会事務局研究会共同代表、元三重県議会事務局次長)
1953 年三重県生れ、京都大学法学部卒。2002 年 4 月から三重県議会事務局で、政策
法務監・政務調査課長・企画法務課長・総務課長・次長を歴任。
著書『自治体議会改革講義』(東京法令出版、2018 年)をテキストに使用(当日配付)

申込方法 下記の mail(又は電話)にて、所属議会名、氏名、連絡先をお知らせください。
(参加者・講師はマスク原則着用。消毒、3 密には十分留意して実施予定。)

申込み・問合せ先 自治体議会研究所(三重県津市白山町二本木 545)(代表:高沖秀宣)
mail: soukon830@yahoo.co.jp、電話:090-4116-4501(9 時~19 時)

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	
(領収書等貼付面)			

領 収 証

No.425752



新創会 様

2023年 6月 1日

下記の通り領収致しました

合計金額 ￥ 180,800-

鹿児島市中央町18番地1

南国交通株式会社

電話 (099)255-2141



摘 要	金 額	備 考
視察費として	180,800	
消 費 税		発 行 部 所
合 計	¥180,800-	川内営業所 (0996)23-2161

(事業名、使途及び内容等)

6/5~7 農林水産省、資源エネルギー庁、原子力発電環境整備機構 視察調査
国会議員との意見交換

(備考)

ホテルパック 2泊3日 90,400円×2名分

調査研究費

領 収 証

創造薩摩川内 新創会 様

No. _____

★

但

¥12000-

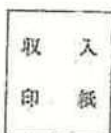
お支払いとして

平成 25 年 6 月 12 日

上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等



コクヨ ウケ-1097

〒895-1105

鹿児島県薩摩川内市東郷町南瀬6丁目

笹野商事株式会社

代表取締役 笹野 英樹

6/5～7 政務調査 お土産代

3,000円×4箇所

12,000円/12人×10人=10,000円 創造薩摩川内
12,000円/12人×2人=2,000円 新創会

領収書
RECEIPT

品川プリンスホテル

〒108-8611 東京都港区高輪4-10-30

TEL (03) 3440-1111 FAX (03) 3441-7092

www.princehotels.co.jp/shinagawa

お名前 サツマセンダ インキカイ 様

お部屋番号 71132 ご人数 12

ご到着 2023/06/05 ご出発 2023/06/07

日付	ご明細	部屋番号	料金	お支払等	備考
06/05	お預かり金	from31173		4,800	
	宿泊税	from31119	200	*	
	宿泊税	from31117	200	*	
	宿泊税	from31122	200	*	
	宿泊税	from31139	200	*	
	宿泊税	from31143	200	*	
	宿泊税	from31144	200	*	
	宿泊税	from31145	200	*	
	宿泊税	from31146	200	*	
	宿泊税	from31147	200	*	
	宿泊税	from31148	200	*	
	宿泊税	from31165	200	*	
	宿泊税	from31173	200	*	
06/06	宿泊税	from31119	200	*	
	宿泊税	from31117	200	*	
	宿泊税	from31122	200	*	
	宿泊税	from31139	200	*	
	宿泊税	from31143	200	*	
	宿泊税	from31144	200	*	
	宿泊税	from31145	200	*	
	宿泊税	from31146	200	*	
	宿泊税	from31147	200	*	
	宿泊税	from31148	200	*	
繰越残高			4,400	4,800	

印紙税申告納
付につき
税務署承認済

調査研究費

領収書
RECEIPT品川プリンスホテル
〒108-8611 東京都港区高輪4-10-30

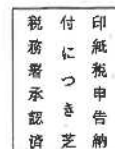
お名前 サツメンダイキカイ 様

TEL (03) 3440-1111 FAX (03) 3441-7092

www.princehotels.co.jp/shinagawa

お部屋番号 71132 ご人数 12
ご到着 2023/06/05 ご出発 2023/06/07

日付	ご明細	部屋番号	料金	お支払等	備考	2
06/06	繰越残高		4,400	4,800		
	宿泊税	from31165	200	*		
	宿泊税	from31173	200	*		

ご利用金額 4,800 ご請求金額 0 (内 消費税: 0)
(内 宿泊税等: 4,800)

ご署名

発行番号 060788154804 P 3 1 88 * 3 A4
23/06/07 08:29 2006201387

政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支 払 年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理 由
R5.6.5 R5.6.7	3,200円	南国交通	川内駅から空港まで のバス賃（往復）	当日、乗車券を 購入したため
R5.6.5 R5.6.7	2,700円	南国交通	ねれ北から空港まで のバス賃（往復）	当日、乗車券を 購入したため
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
合計	5,900円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和5年6月7日

会派名 新創会
代表者 成川 幸太郎



政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支 払 年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
R5.6.5	630 円	京急電鉄ほか	羽田空港から国会議事堂前までの電車賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R5.6.5	630 円	京急電鉄ほか	羽田空港から国会議事堂前までの電車賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R5.6.5	350 円	JR 東日本ほか	品川から国会議事堂前までの電車賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R5.6.5	350 円	JR 東日本ほか	品川から国会議事堂前までの電車賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R5.6.6	700 円	JR 東日本ほか	品川から国会議事堂前までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R5.6.6	700 円	JR 東日本ほか	品川から国会議事堂前までの電車賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R5.6.7	300 円	京急電鉄ほか	品川から三田までの電車賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R5.6.7	300 円	京急電鉄ほか	品川から三田までの電車賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R5.6.7	470 円	京急電鉄ほか	三田から羽田空港までの電車賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
R5.6.7	470 円	京急電鉄ほか	三田から羽田空港までの電車賃（片道）	当日、乗車券を購入したため
合計	4,900 円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 5 年 6 月 7 日

会派名 新創会

代表者 成川 幸太郎



市内旅費領収明細書

整理 番号	日 付	出 張 用 務	起 点 ～ 終 点	旅 費 額	領 収 日	領 収 印	備 考
1	6月5日 6月7日	会派視察市内旅費	旧藤川 ～ 平佐西	1,110円	6/7		
2			～	円			
3			～	円			
4			～	円			
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			

※薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

政務活動費領収書等添付用紙

				整理番号
使途項目	研修費	支出内容		1
(領収書等貼付面)				

領 収 書

成川 幸太郎 様

金 7,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、「地方議会特別セミナー」受講料として。
テキスト代 2,000 円を含む。

令和 5 年 4 月 12 日

自治体議会研究所 (三重県津市白山町二本木 545)

代表 高 沖 秀 宣 (印)

(事業名、使 途 及 び 内 容 等)
4/12 自治体議会特別セミナー 「議員の資質向上と議会運営の基本」受講料
(備考)
会場 : SS プラザせんだい

政務活動費領収書等添付用紙

				整理番号
使途項目	研修費	支出内容		2
(領収書等貼付面)				

領 収 書

大井 美香 様

金 7,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、「地方議会特別セミナー」受講料として。
テキスト代 2,000 円を含む。

令和 5 年 4 月 12 日

自治体議会研究所 (三重県津市白山町二本木 545)

代表 高 沖 秀 宣 

(事業名、使途及び内容等)
4/12 自治体議会特別セミナー 「議員の資質向上と議会運営の基本」受講料
(備考)
会場：SS プラザせんだい

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	事務費	支出内容	
(領収書等貼付面)			

No. 001954										
領 収 証										
新創会	様									
2023 年 8 月 22 日										
金 額	<table border="1"> <tr> <td>百万</td> <td>千</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>¥</td> <td>25135</td> <td></td> </tr> </table>	百万	千	円	¥	25135				
百万	千	円								
¥	25135									
但し 御品代 227 上記金額正に領収いたしました										
収 入 印 紙	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl;">内 訳</td> <td>現 金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小切手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手 形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	内 訳	現 金	0	小切手		手 形		その他	
内 訳	現 金		0							
	小切手									
	手 形									
	その他									
〒895-0076 鹿児島県薩摩川内市大小路町8番15 株式会社 文友 電話 0996(22)4624										
取 扱 者 										

(事業名、使途及び内容等)
会派室プリンタ用インクカートリッジ等
(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目	事務費	支出内容	
(領収書等貼付面)			
領 収 証		***** * 明 細 書 * ***** 2023/09/02 (土) 16:12	
***** 様 ***** 2023/09/02 (土) 16:12		#: 道具ホッチキス フル @1,012 1 ¥1,012 #: ホートマーカー-中字中型 赤 @77 1 ¥77 #: ホートマーカー-中字中型 黒 @77 1 ¥77 #: ホートマーカー-中字中型 青 @77 1 ¥77 #: 白板イレーザー S WD-ES @264 1 ¥264	
¥1,507-		【小 計】 5点 ¥1,507 内税対象(10%) ¥1,507 内税額 (10%) ¥137	
【合 計】 ¥1,507 内税対象(10%) ¥1,507 内税額 (10%) ¥137 +現金 ¥1,507		【合 計】 ¥1,507	
但し、		+現金 ¥1,507	
上記正に領収いたしました。		【預り金】 ¥10,007 【釣 銭】 ¥8,500	
この面を内側に折って 保管して下さい。		上記正に領収いたしました。	
M-001 R-2 担当: 〇〇1 RNo-20438042 SEQNo-200166696		※は軽減税率適用商品です	
M-001 R-2 担当: 〇〇1 RNo-20438042 SEQNo-200166696		印	
(事業名、使途及び内容等)			
会派室用文房具			
(備考)			

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	事務費	支出内容	
(領収書等貼付面)			

領収証		No. 00004289	2024年1月29日
新創会		様	
金額	¥50,270-	内	¥4,570-
		消費税等	
但 インカートリッジ他代として		現金	
上記正に領収いたしました			
			
895-0076 鹿児島県薩摩川内市大木路町8番15号			
株式会社文友社			
TEL 0996-22-4624		FAX 0996-22-4852	
			

(事業名、使途及び内容等)
会派室プリンタ用インクカートリッジ等
(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	事務費	支出内容	
(領収書等貼付面)			

領 収 証		No. 002578								
新創会 様		2024年3月28日								
金 額	<table border="1"> <tr> <td>百万</td> <td>千</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>¥</td> <td>47300</td> <td></td> </tr> </table>	百万	千	円	¥	47300				
百万	千	円								
¥	47300									
但しコピー用紙、インクカートリッジ 上記金額正に領収いたしました										
収 入 印 紙	登録番号:  〒895-0076 鹿児島県薩摩川内市大小路町8番15号 株式会社 文友社 電話 0996(22)4624	<table border="1"> <tr> <td>現金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小切手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	現金	0	小切手		手形		その他	
現金	0									
小切手										
手形										
その他										
		取扱者 								

(事業名、使途及び内容等)
会派室プリンタ用インクカートリッジ、コピー用紙
(備考)